和歌山県知事
仁坂　吉伸

全国的に医師不足が叫ばれている中、和歌山県では、2008年以降、和歌山県立医科大学の入学定員を60名から100名に増員するとともに、卒業後も地域医療に携わる医師のキャリア形成を支援するため、2011年4月に「地域医療支援センター」を開設しました。

現在、地域医療支援センターを中心に和歌山県立医科大学や地域の拠点病院、へき地医療機関など、県内各地の医療機関と連携し、「高度先進医療」から「地域に密着した医療」まで、医師の皆さんが、大いに学んで、充実して働ける魅力のある環境づくりを行っています。

和歌山県立医科大学
理事長・学長
岡村　吉隆

和歌山県では平成23年に地域医療支援センターが、和歌山県立医科大学内に設置されました。平成26年には、附属病院東棟が新築され、その中核施設として移転しました。現在、上野センター長をはじめ、医師・教員4名、事務4名の体制で運営されています。

遠隔外来支援や遠隔救急支援など遠隔医療支援システムも導入しましたが、地域への医師派遣のコントロールタワーとしての機能が最大の任務です。

地域の医療機関からの医師派遣の要望に応えることと、派遣される医師のキャリア形成を考えて適正な医師派遣を行うことが要求されます。

地域での医師不足対策として設けられた地域医療枠・県民医療枠学生が卒後2年の初期臨床研修を終えていよいよ平成28年4月から県内医療機関に配置されます。

もちろん、専門医、指導医資格を有する医師や卒後5年以後の若手医師も大学を中心として従来通り積極的に派遣して地域医療の充実を図っていきます。

適正な医師配置について、県医務課や県内公的医療機関、県医師会や病院協会などと密な連携を取り、病院の統廃合など中長期的な問題も視野に入れながら、適切な地域医療支援を行っていきます。

Access map

〒641-8509　和歌山市紀三井寺 811-1（和歌山県立医科大学　附属病院東棟３階）

TEL 073−441−0845　FAX 073−441−0846

http://www.cmsc.jp/

http://www.facebook.com/W.CMSC

- JR紀三井寺駅 ⟶ 徒歩（徒歩10分）
- JR和歌山駅 ⟶ バス・タクシー
- 南海和歌山市駅 ⟶ バス・タクシー

- JR和歌山駅前
  - １番のりば「医大病院」行　約25分
  - ２番のりば「医大病院」行　約30分
- 南海和歌山市駅前
  - １番のりば「医大病院」行　約30分
  - ８番のりば「医大病院」行　約30分
  - ９番のりば「医大病院」行　約30分

和歌山県地域医療支援センターは、和歌山県から委託を受け、平成23年4月に和歌山県立医科大学内に設置されました。

当センターでは、医師の地域偏在の解消と県民医療枠及び地域医療枠学生の卒業後9年目までのキャリア形成支援を最大の使命としています。また、そのために卒業後の研修体制整備、医療状況の把握に取り組んでいます。

センター長あいさつ

地域医療支援センター長
上野　雅巳

地域医療が充実するには能力の高い医師が多く育つことに尽きると考えます。能力の高い医師になるには、高い専門性と同時に目の前のどんな患者さんにも対応できる救急・総合診療医としての力を身に付けることが必要です。

大学病院と地域中核病院両方で後期研修を行い専門医を取得し、同時に総合診療能力を付けるようプログラムしています。国内・海外留学も可能にしています。安心で満足したキャリア形成ができます。

3つの柱

- 県民医療枠、地域医療枠学生の卒業後（９年間）のキャリア形成に対する支援
- 医師不足状況の把握、分析、医師確保の支援等
- 遠隔医療（遠隔外来・遠隔講義聴講等・遠隔救急支援）

遠隔医療支援システム

県民・地域医療枠学生の卒業後 ９年間のキャリア形成をサポートします！

県民医療枠（募集人員20名）

和歌山県民医療の指導的・中心的な役割を担う人材を育成するコースです。基本モデルコースを基に、卒業後９年間、地域の中核的役割を果たす県内公的病院で研修を行い、専門医や学位取得を目指します。

※大学院や海外留学も視野に入れた研修プログラムを予定しています。　※専門医制度の変更に伴い、取得時期が変わる可能性があります。

基本モデルコース

卒業後 1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
医学部	大学	大学	大学	地域中核病院	地域中核病院	大学	大学	地域中核病院	地域中核病院

医師免許取得　初期臨床研修　専門医研修（3～5年）　大学院　学位取得

地域医療枠（募集人員10名）　総合診療専門医の取得を考慮に入れています！

卒業後９年間のキャリア形成をへき地医療拠点病院等を中心に行い、総合診療専門医の取得が可能なコースです。なお、地域医療枠の学生には、在学中、和歌山県から**修学資金（※）**が貸与されます。

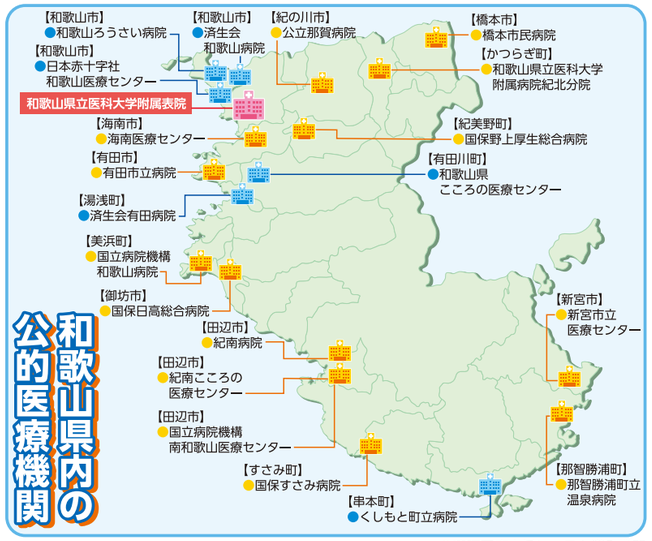
※大学院入学も可能です。※専門医制度の変更に伴い、取得時期が変わる可能性があります。

（※）和歌山県修学資金	貸与条件	医師免許取得後、引き続いて修学資金貸与期間の1.5倍に相当する期間（9年間）を和歌山県が指定する県内公的医療機関等に勤務することとし、その内、2分の1以上の期間をへき地医療拠点病院等でへき地を含む地域医療に従事すること。 ※上記条件を満たす場合、返還が免除されます。 詳しくは、和歌山県庁医務課（073-441-2610）までお問い合わせください。	貸与金額（予定）	●自宅から通学する者 ･･･10万円/月 ●自宅外から通学する者 ･･･15万円/月

基本モデルコース

卒業後 1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
医学部	大学	大学	へき地医療拠点病院	へき地医療拠点病院	へき地医療拠点病院	大学	大学	へき地医療拠点病院	へき地医療拠点病院

医師免許取得　初期臨床研修　専門医研修　総合診療専門医取得



●遠隔医療支援システム導入機関

「若い力」

地域医療枠　四期生
濱　裕也 さん

和歌山県の医療は、地域偏在や診療科偏在など多くの問題を抱えています。

高度な専門医療のできる医師が必要とされているのはもちろんのことですが、地域で活躍できる医師も必要とされています。

しっかりとした経験を積めば、問診と診察だけで多くの病気を診断・治療できると言われています。

約五年間の大学生活を終えた今、患者さんの病気だけを診るのではなく、生活環境や家族環境もしっかりみることが大切であるととても強く感じています。

地域医療にしっかり目を向けるということは、これからの医療を考えていくうえで欠かせないことです。

最後になりますが、私たちの若い力で和歌山の地域医療をより良いものにしていきましょう。